

草津市立 クリーンセンター見学 & 段ボールコンポスト講習会

9月10日、草津市立クリーンセンター見学&段ボールコンポスト講習会を実施しました。子どもを含む20名が参加し、草津市の公用バスでクリーンセンターへ行きました。

クリーンセンターでは職員の方からごみの分別についての説明、クリーンセンターの施設の紹介などを受けた後、ごみ問題を考える草津市民会議の方から、段ボールコンポストの講習を受けました。多くの方が段ボールコンポストを持ち帰り、家庭の生ごみからの堆肥づくりに挑戦されます。



タマのなるほどポイント

- ・ビンを捨てる時はラベルは貼ったまま（回収業者が材質を確認するのに見ることもあるよ）
- ・電池からはマンガンや亜鉛が回収されるよ。
- ・ペットボトルは繊維や透明シートに再生。ペットボトルの再生も始まっているよ。
- ・プラスチックごみからは荷物用パレットやプランターなどが作られるんだよ。
- ・破碎ごみは機械で砕いて鉄・アルミを取り出して残りは燃やしているよ。
- ・焼却ごみの熱で蒸気タービンを回して発電しているよ。発電量の3分の1でクリーンセンターの電力を賄い、残りは売電しているよ（1年間で1億8千万円売電したんだ）。
- ・一旦焼却炉に火をつけると3~4か月燃え続けるんだって。

